# OPCTest のコマンドライン ユーティリティの使用

### 内容

概要

前提条件

要件

使用<u>するコンポーネント</u>

表記法

opctestの実行

opctestコマンド

デバッグ情報

Exit & Quit opctest

関連情報

### 概要

Open Peripheral Controller (OPC) Test (opctest) コマンドライン ユーティリティでは、Cisco Intelligent Contact Management (ICM) ペリフェラル ゲートウェイ (PG) OPC プロセスのさまざまなパラメータの表示と設定を行えます。opctest は、Microsoft Windows OS コマンド プロンプトまたは Telnet セッションから実行できます。

注:コマンド・プロンプトは、PCまたはpcANYWHEREから使用します。Telnetで表示できないデータ列が頻繁に表示されるため、コマンドプロンプトの使用が適しています。

## 前提条件

#### 要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

#### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『シスコ テクニカル ティップスの表記法』を参照してください。

# opctestの実行

opctestを起動するには、次の手順を実行します。

- 1. opctest /cust *custname /node ICM node nameコマンドを発行し*てください。注: *custnameは*顧客名を示し、ICMノ*ード名*はノード名を示します。例として**opctest /cust abc**/node pgxがあります。
- 2. **opctest /?**を発行します。コマンドを発行します。このコマンドは、opctestの実行に関する情報を表示します。
- 3. opctestを起動した**後に**、「**help**」と**入力し**ますか**?**使用可能なすべてのコマンドのリストを表示します。最も一般的なコマンドは**status**で、PGの状態と状態が表示されます。

次に出力例を示します。

C:\> opctest /?

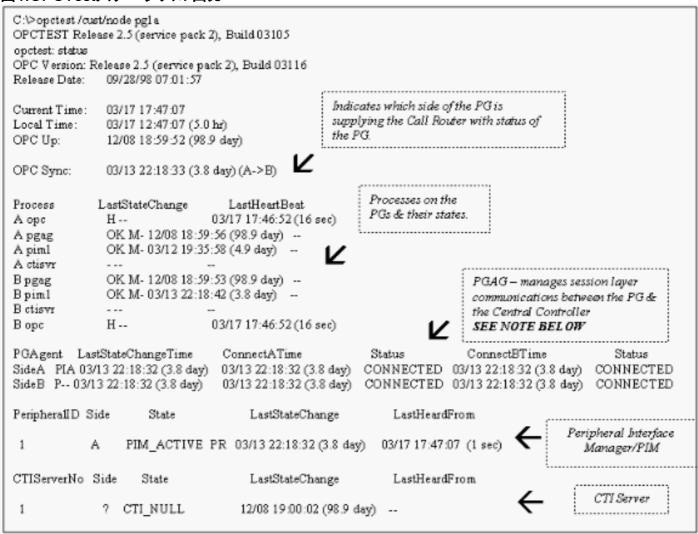
Version: Release 4.0, Build 04624

Usage: opctest [/f InputFile] [/system SystemName] [/cust Customer]

[/node ICRNode] [/pipe OutputPipe] [/debug] [/stop] [/help] [/?]

図1は、statusコマンドの詳細な出力を示しています。

#### 図1:OPCTestステータスの出力



**注:ICMバージョ**ン4.1では、ペリフェラルゲートウェイエージェント(PGAgent)セクションには、現在アクティブ側の間のみが表示されます。この例では、PG5BのPGAgentがアクティブ側で

#### す。PG5Aがアイドル状態:

```
PGAgent LastStateChangeTime ConnectATime Status ConnectBTime

Status

SideA P-- 02/01 11:50:23 (3.2 hr) IDLE AGENT

IDLE AGENT

SideB PIA 02/01 11:48:54 (3.2 hr) 02/01 11:48:54 (3.2 hr) CONNECTED 02/01 11:48:54 (3.2 hr)
```

# opctestコマンド

helpと入力しますか?opctestコマンドプロンプトで使用可能なコマンドのリストを表示します。

List\_AgentsやList\_Trunk\_Groupなどの一部のopctestコマンドには、1つ以上のコマンドラインスイッチが必要です。コマンド名/?を入力適切な構文を取得します。以下が一例です。

```
opctest: la
list_agents: Error for PeripheralID: Missing argument.
opctest: la /?
Usage: list_agents PeripheralID [/agent AgentID] [/state AgentState]
                  [/group SkillGroupID] [/agpri SkillGroupPriority] [/logout]
                  [/help] [/?]
opctest: la 5004
SkillGroup= 0 Pri= 0 ---- LoggedOn=23 Avail=0 NotReady=4 Ready=19 TalkingIn=16
                      TalkingOut=0 TalkingOther=3 WorkRdy=0 WorkNRdy=0 Busy=0
Reserved=0 Hold=0
             1 Pri= 0 ---- LoggedOn=9 Avail=0 NotReady=1 Ready=8 TalkingIn=7
SkillGroup=
                      TalkingOut=0 TalkingOther=1 WorkRdy=0 WorkNRdy=0 Busy=0
Reserved=0 Hold=0
SkillGroup=
             2 Pri= 0 ---- LoggedOn=25 Avail=0 NotReady=4 Ready=21 TalkingIn=20
opctest: ltg
list_trunk_groups: Error for PeripheralID: Missing argument.
opctest: ltg 5004
Perph#
        SkTargetID NTGSkTargetID NumTrunks LastHHU
                                                   Tracing Ext
ConfigParam
                                     -1 02/01 14:30:00
     0
                                                           0
           5057
                      5005
           5058
     1
                     5005
                                     -1 02/01 14:30:00
                                                           Λ
     2
           5059
                     5005
                                     -1 02/01 14:30:00
     3
           5060
                     5005
                                     -1 02/01 14:30:00
                                     -1 02/01 14:30:00
           5061
                     5005
     4
                                                           0
           5062
                     5005
                                     -1 02/01 14:30:00
     5
                                                           0
           5063
                                         02/01 14:30:00
     6
                      5005
                                     -1
     7
           5064
                     5005
                                     -1 02/01 14:30:00
                                                           0
     8
                     5005
                                                         0
           5065
                                     -1 02/01 14:30:00
     9
           5066
                     5005
                                     -1 02/01 14:30:00
                                                          0
    10
           5067
                     5005
                                     -1 02/01 14:30:00
                                     -1 02/01 14:30:00
    12
           5010
                     5005
                                                          Ω
           5011
                     5005
                                     -1 02/01 14:30:00
    13
                                                           0
```

# デバッグ情報

14

5068

5005

opctest内で特定の**デバッグ**を有効にするには、debugコマンドを**発行しま**す。debugコマ**ンド**は、トレースをオンにし<u>てデバッグ制御を有効にします</u>。デバッグ制御を有効にすると、レジスト

-1 02/01 14:30:00

リを調整したり、OPCプロセスのEMSTraceMaskを有効にするはるかに効果的です。デバッグ制御を有効にすると、OPCの部分でトレースが有効になり、追加のトレースが必要になります。トレース結果がOPC Event Management System(EMS)ログファイルに表示されます。EMSログの出力を表示するには、dumplogを使用します。詳細は、『Dumplogユーティリティの使用方法』を参照してください。

以下が一例です。

opctest: debug /?

トランスレーションルートの**問題をトラブルシュ**ートする必要がある場合は、debug /routingコマンドを発行します。

トラブルシューティングが終了したら、すべてのOPCト**レーシングを**オフにするために/noallスイッチを使用します。トレースをオンのままにすると、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

# Exit \( \) Quit opctest

quitコマンドを発行して、opctestユーティリティを終了します。

注意:exit\_opcコマンドを発行する場合は注意が必要です。このコマンドは、PGがデュプレックスの場合、OPCプロセスがPGの両側で終了するように指示します。Node Managerはプロセスを強制的に再起動させ、Call Routerの設定のリロードを強制します。すべての内部ペリフェラルおよびエージェント状態がフラッシュされます。次に、OPCとペリフェラルインターフェイスマネージャ(PIM)がPGとその設定を再学習します。

# 関連情報

- Dumplog ユーティリティの使用方法
- •トレース機能を強化する場合
- テクニカル サポートとドキュメント Cisco Systems